

友愛看護師物語 ♡

・・・皆様の健康と安心のために・・・

私たち4人が他職種とチームワークを発揮し、誠実にそして懸命にご利用者の健康と安心を守ります。



当センターにおける看護支援について

今でこそ重度の障害を持った方々に対応した社会資源の拡充が進んでおりますが、より高度な医療的ケアを要する重度の障害を持った方々においては、今なお希望するサービスを十分に利用することができず、家庭全体の地域生活が行き詰ってしまうケースも少なくありません。

当センターが医療的ケアへの対応力を強化している理由の一つは、このような「医療的ケアなどの困難なケアを要する障害者だから、必要とするサービスが受けられない」という不条理をなくし、誰もが公平にサービスを受けられる地域社会の実現に貢献したいと考えているからに他なりません。そのためにも、医療的ケアの有無に関わらず、様々な障害を有するご利用者が安全・安心に通所できる看護体制を整備することが重要であり、当センターでは「医療行為や看護手技を行使することが看護ではなく、ご利用者の生活そのものを支援することが看護である」という考え方を大切にしています。

ご利用者はケアを受けるために通所されているわけではありません。日常生活をより豊かなものとするために通所されているのです。誰もが暮らしやすい地域社会の実現を常に念頭に置きながらも「ご利用者が居場所を確保し、地域で充実した生活を送れること」を根幹として、支援に取り組んでいきたいと考えています。

そのため、私たちは「指示書通りの看護手技を提供するだけの支援者にはならない」ことを共通認識としており、ご利用者の食事介助・移乗介助・入浴介助・排泄介助にも積極的に関わっています。実際にご利用者の身体に触れ、様々な表情や反応を細かに観察することで、ご利用者の有する様々な能力やニーズ・生活全体の課題

を正確に把握することが可能となり、より精度の高い看護ケアの提供に繋がるものと確信しています。

今後は、各種社会資源との綿密な連携や在宅を含めた施設内外における包括的な健康管理を実施し、ご利用者やご家族の地域生活がより豊かなものとなるよう、質の高い看護支援の提供に努めてまいります。

私の大切にしていること



看護リーダー

私は、これまで看護の実践現場において、自分がいかに心を尽くしても相手の立場には立てないことを強く感じてきました。だからこそ、言語的であろうと非言語的であろうと全身で思いを伝えて下さるご利用者やご利用者を支えるご家族との対話を大切にしております。

ご利用者やご家族が経験されてきたことをしっかりと受け止め、その立場を理解し、直面されている困難を共に乗り越えていくことを信条に、日々皆様と接しております。



どのような時でもご利用者に対し、「触れる手は優しく・笑顔を忘れない」をモットーにしています。

ご利用者は、何かを伝えようとする時、いつも一生懸命です。小さなサインも見逃さずその想いに気付き、寄り添う姿勢が大切だと思っています。

そしてもう一つ大切にしているものは、一緒に働く仲間への感謝の気持ちです。一人でできることは限られますが、仲間と一緒になら多くの困難も乗り越えられると思います。仲間へ感謝し、常にチームワークの形成に努めています。



ご利用者に安心して安全なケアを提供することはもちろんですが、ご利用者やご家族の意向を尊重し、常に自分のこととして捉えられる看護師でありたいと思っています。そのためにも、皆さんとのコミュニケーションを大切にしています。

ご利用者が笑顔にあふれ、住み慣れた地域で安心して社会生活を送ることができるよう、お手伝いができればうれしいです。



看護師になって多くの出会いがありました。そこから学んだことは寄り添うことの大切さです。ご利用者の生命や健康を守ることはもちろん、しっかりと寄り添いながら、毎日、楽しく、明るく過ごしていただけるように努めています。時には寄り添うことの難しさに悩むこともありますが、そんな時は、自分だったらしてほしいことをさせていただき、されたくないことはしないという行動原則に立ち返り、たくさんの笑顔に会えるよう頑張っています。